

氷川瑣言

比路志生

銃後國民の自覺し奮起すべきの秋は今

日本帝國及中華民國、タイ國、滿洲國、フィリピン國、ビルマ國、竝に自由印度假政府の各代表者達によりて大東亞會議が開かれ其の眞摯熱誠なる討議が行はれて大東亞共通の理念たる共存共榮の五大原則を決定、之を中外に聲明したのである、又第二次ブーゲンビル島沖航空戦に於てハワイ島海戦の勝利と並び稱せらるゝ赫々たる戦果を挙げ、軍艦のみにても十五隻を撃沈撃破した快報に接したのである、吾人銃後の國民は唯興奮し賞讃し感歎するのみにて足れりとするか。他の五國をして眞の獨立にまで到達し自力以て國家を存立せしむるの指導と支援と誘致との責任を負ふのは我帝國々民ではなからうか、戦力増強と増産とに起ち上つて攪むことなき戦意を昂揚し大東亞戦を勝ち抜き尙遙かなる彼岸の捷利を得て、東亞否世界に眞の平和と福祉とをもたらすの重荷は吾人銃後國民の双肩にかゝつておるのではなからうか、關取引や物資不足の不満や自己の利慾や名譽や榮達やは顧みる秋ではな

い、須らく諸悪諸不徳、諸非行を反省して此のかゞやかしき國として勝利と名譽とに奮起すべきの秋であるであらう。

不急不要の旅で犬死は見苦しい

關釜連絡船が米國の潜水艦によつて撃沈された、とかく非武装の汽船、病院船などを狙ひ、精銳艦や爆撃機の眼を怖れ逃げつ、かくれつ、我がすぎ、油斷に乗じて非人道的行爲を爲すが敵米英の常習である、乍併此は戦争であつて蓋し已むを得ない出来事で沈没した汽船と運命を共にした幾多の死者に對しては弔意を表するが戦争目的の爲直接間接の關係あるものは覺悟の前の乗船であるが、不急不要の旅客に取つては眞の犬死としかいへない、呉れなくも不急不要の旅はすまじきものである。さわりながら決戦下一人の力も惜まるゝ時に假令鐵道従業員の過失とはいへ、汽車衝突の爲めに生命を喪ふたものは惡の骨頂である、従業員の過失は過勞の結果とすれば監督の地位に在る者の責任は重い、良し従業員の錯覺か怠慢とするも平素の訓練の足らざるを意味し獨り從

業員のみに責任を負はすべきものでなからうか。とにかく乗客の心得べきことは買ひ出しや物見遊山や健民運動と假稱する團體遊行や享樂の旅の如き不急不要の旅は自願して眞に已むを得ざる旅行の外は遠慮し、従業員に迷惑や疲勞を與へぬことである、見苦しき犬死をしたとて褒めるものは一人もない、唯の一人もないのである。

配給制度の適正化を望む

食糧配給制度は今日尙ほ公平でない、更に工夫に工夫を凝らし「顔」で賣ることや、「情實」賣りや「權威」賣りや「闇」賣りや等々凡そ不公平な配給は絶対に廢止すべきだ、夫れが日本國民の公道徳である、更らに又不公平の配給として世帯割當がとり上げらるゝ、殊に人數無視の一律平等といふは甚しき不合理である、例へば一世帯夫婦のものど六、七人の家族を有するものとの同量の配給はいはずもがな、喰氣盛りの少年も六、七十歳の樂隠居も同じでは伸びるものが伸びない、配給をかせぐ老幼者がなく、而かも喰氣盛りの辨當持ちが四人も五人も揃ふた家庭が世帯主義でやられては家庭争議のもととなる虞がある。家族主義の發揮などはあつかましい、乏しきことは已むを得ざるも「悪平等」の弊は矯むべきことだ、町會長部落會長や隣組群長の骨折は同情すべきも、かゝる悪平等配給制度は一日も速かに廢止し配給制度

の擴充と適正化と要求せざるを得ない、悪平等の結果は家庭内の悲劇をも生ずる、憂ふべく恐るべきことであると思ふ。

衣料切符問題の解決

銃後國民戰時生活を仔細に検討するに國民の反省すべきことも澤山あるが制度の改むべきものも少なくないことを痛感する、其中でも衣料切符の如き一大問題である、必要に迫られても容易に買へないので切符を死藏するものもある、探し廻れば何處にか見付かると買漁るものもある、とにかく販賣業者も消費者も共に反省し、時間の空費を除き、無に苦しむ者を救ふべきである、今日の如き衣料切符制度は問題である、衣料切符の獻納者の如きは別に切符を配付せざるも不都合はない、要は配給所を統制し、生産額を確定し、販賣し得る程度を決定し、貨物が販賣し得る状態において夫れが普及し得る途を得たとき假令貨物は少くとも公平に行届く様にすることが緊急である。要は配給の普及と公平と簡素化とを圖るに於ては夫れ／＼の適品も適所に流れ、古着の更生の如きも不足物のおぎないとして活用せらるゝであらう。衣料切符制に一段の工夫を希望せざるを得ない。

「闇」の撲滅とは言葉のみか

「闇」の撲滅とか、「闇」の絶滅とか論ぜられ、叫ばるゝのも久し

いものだ、「關」はいやなもの、厭ふべきもの、惡むべきものだといふ異口同音に上下を通じて語り傳へておるにかゝらず「關」が矢張横行する、收賄が收賄者と贈賄者とによつて一致して行はるゝ如く「關」も販賣者と購買者とが協同して行はるゝ。表面には「關」を撲滅せよ、絶滅せよと叫びながら、「物が足りない」「物が無い」「公道相場では……」と思ふ心が「物の不足に不満をいだくものが、良い物が容易に入手出来ないといふ者が何んとかして入手したいと思ふから縁故をたよつて買ふ、販賣者はよい鳥とばかり儲けにはぬけぬがないので賣る、此處に「關取引」が生ずる。そして他人の「關」は攻撃し、排斥するが自己又は自己の家族の「關」には已むを得ないとの理由づきで取引する、是れでは警察官が如何に摘發に努むるも、檢察官が檢舉に骨折るも濱の眞砂のそれならで「關取引」の種はつきない、要は戦時急迫の場合との國民の自覺にまつの外ないであらうか嗚呼

聞かれざる聲に聞くべきかすく

一、町會の寄附、某區では去る五月各町會分合の際、自分のところは八百戸内外で一町會を新設した。ところが、先頃町旗、班旗、隣組旗、防護團員服、町會長以下各役員の腕章等を新調するといふ名目で、各戸から町會費四倍の寄附金を高壓的に募集した。最近その報告を聞くと、總額數千圓の寄附金は町旗一本三百

圓をはじめ上記いろいろの物品の調達費に充てたとのことである。戦時下あらゆる物の新調は、この際見合せようと、隣組一同協力しつゝある折、町旗は勿論、その他の旗にしるゝ、また腕章にしても白布に適當な文字を墨書する程の簡潔さこそ、時局の要求に添ふのではなからうか。云々と實に尤もの感がする。

二、家庭の主婦から、私は十二を頭に、五人の子をもつ母親です。今回日婦總職起の記事を見て、又かとうんざりさせられました。有閑階級を基準にしての思ひつきでいろんな行事に引張り出されることは勤勞女性には大變迷惑です。短袖の勵行、貯蓄の増強、衣料切符の獻納、みな養成です。しかし短袖にしたい、標準服に直したいと願ひながら手が廻りかねます。貯蓄するためには内職してありますがそれにも時間が必要です。衣料切符を使はないためには手持の布切を利用したいのですが、それも時間がなければ出来ませぬ。農家の主婦たちはこれ以上の忙しさと思ひます。何卒いくらあつても足りない家庭の主婦の時間を、存在を明かにするための思ひつきに浪費させないで下さい。と事柄に依つて事情に依つて生活の狀態に依つて世帯の有様に依つて細かに工夫を凝らして各般の公事は町會長部落會長が、實施の任に當るべきもので官公署の言ふがまゝに、唯々諸々唯之に背かざらんことを願ふは却て下情上達の途に反するものではなからうか。